

2021年度

# 群馬高教組第2回中央委員会

2022年3月12日(土) オンライン開催



午後2時からコロナ対策のためオンライン開催の形で開催されました。各支部代表者7人の参加を得て第1号議案から第7号議案について審議されました。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難しながら「教え子を再び戦場に送るな!」のスローガンをもう一度胸に刻み直すことの必要性と、「さよなら原発アクション群馬2022」に参加して「このような事故を二度と起こしてはいけない」と改めて強く思ったことを訴えた、澁谷委員長の挨拶から会議は始まりま

●各議案は以下の通りです。  
1号議案(活動経過報告)  
確定交渉の成果やぐんま教育のつどい、共同闘争、共済会のとつどいなどについて  
2号議案(会計、会計監査報告)  
八月から十一月までの会計報告及び監査報告について  
3号議案(2022年度本部役員仮承認と信任者報告について〈仮承認済み〉)  
4号議案(定期大会までの運動推進)  
情勢分析、春闘・人事・統廃合問題・平和問題について  
5号議案(4月から5月暫定予算案審議)  
昨年度同様の予算案承認について  
6号議案(次回定期大会開催)  
五月二十八日(土)に開催することについて  
7号議案(支部提出

### 議案

ありませんでした。

○田口(前橋清陵)  
卒業生のみで卒業式を実施した(在校生へのリモート行う教室不足のため)。行事が放送で聞くだけ・体験でき生間の生徒が不憫。

○水田(伊勢崎商業)  
社会の入試問題では記号が増えた。採点ミスに対する要請が反映されたか。

○原田(安中総合)  
ある学校の公仕に対する事務長からの行動がパワハラではないか。組合としての対応を求める。〈高教組として対応中〉

○神保(玉村)  
入試で別室対応画多く大変であった。他校の様子を知りたい。

○小松(太田女子)  
職員減で入試の別室担当をつけれない。数部屋を兼任する様な形での対応。

○神保(玉村)  
卒業式の送辞担当者がコロナになり大変だったが、なんとか間に合い、全校生徒で卒業式を実施した。発熱のため欠席者のため後日卒業式を行った。

○原田(安中総合)  
コロナで学年閉鎖があつて、家庭学習課題とリモート受業をすることにしたが、担当者によって対応が異なつた(慣れない人にとつて急な対応ができない)。

○神保(玉村)  
卒業式の送辞担当者がコロナになり大変だったが、なんとか間に合い、全校生徒で卒業式を実施した。発熱のため欠席者のため後日卒業式を行った。

○小松(太田女子)  
職員減で入試の別室担当をつけれない。数部屋を兼任する様な形での対応。

○神保(玉村)  
卒業式の送辞担当者がコロナになり大変だったが、なんとか間に合い、全校生徒で卒業式を実施した。発熱のため欠席者のため後日卒業式を行った。

○小松(太田女子)  
職員減で入試の別室担当をつけれない。数部屋を兼任する様な形での対応。

○神保(玉村)  
卒業式の送辞担当者がコロナになり大変だったが、なんとか間に合い、全校生徒で卒業式を実施した。発熱のため欠席者のため後日卒業式を行った。

もう少し話を伺いたかった。会議についてのシステム活用方法や開催方法についての検討を行っていく。議案書や参加者が発言しやすい内容形式を検討していく。

## 2022年度 本部役員

執行委員長	澁谷 正晴 (前橋高等特別支援)	執行委員	吉澤 勉 (勢多農林)
副執行委員長	水田 福夫 (伊勢崎商業)	会計監査	東海林 聖弥 (高崎商業)
副執行委員長	春山 宜紀 (前橋東)	会計監査	大島 哲平 (前橋女子)
書記長	萩原 正人 (伊勢崎工業)	会計監査	神保 聡志 (玉村)
書記次長	小笠原 真人 (本部)	会計監査	鈴木 雄介 (藤岡工業)
会計委員	今井 徹 (前橋工業)		

# 新採用者と新規異動者への声かけ をそれぞれの職場で

新型コロナの影響で今年もベトナム文化ホールでの辞令公布式が実施されませんでした。新採用となった私達の新たな同僚は、大きな希望と不安を抱えています。その一人ひとりに対して「あなたは一人ではなく多くの仲間がいるんだ。」と積極的に声かけをして、心からの歓迎の気持ちを示しましょう。

また、異動してきた人達に対してもそれぞれの職場によって新たな人間関係を早期に築くためにも声かけが大切になります。誰もが経験していないことですが、知人がいない時に話しかけてもらえるホッとすることを行う時でも



職場ごとで少しずつ異なることも多いものです。まずはその差異を理解して話をし、お節介をしましょう。また、話しかけるきっかけに一つとして共済組合加入のパンフレットを用意しています。各分会に送付してありますので、活用してください。その時に、本部へ事前連絡をいただければ、ちょっとしたお菓子を持って行って【共済カフェ】を行うこともできます。是非多くの活用を待っています。

今年度こそコロナに負けることなく多くの仲間を迎え入れる活気ある活動を一緒に作り上げましょう。

## 【憲法闘争交流集会】報告

三月二十六日(土)の午後、オンラインで開催されました。講演は、沖縄で活動している映画監督／ジャーナリストである三上智恵さんをお招きして、『復帰五〇年の沖繩を襲う沖繩戦再来の危機』〜沖縄から考える、憲法9条、教育の役割、平和憲法のリアリティー〜と題して一時間ほど行われました。

内地(本州)では報道されない自衛隊の基地建設とその裏に隠されているアメリカへの盲目的な従属、さらにそのために犠牲を強いられている沖縄の人々の現実、近い将来に危惧されている沖縄戦の再来などについて具体例を交えながらのお話でした。

三上さんの監督された映画の紹介もされました。映画といっても完全なるドキュメンタリーで生々しい映像がおさめられています。言葉では表現が難しいので「近々上映会などを計画してもよいのではないか。」と参加者の間で話が出ました。実現に向けて準備をして行きますので、楽しみにしてください。

講演会の中で、教育の役割として、「風たかた」になろう、なる人を育成していこうという事を強調されていました。「風たかた」とは、沖縄の言葉

で、風よけ、防波堤を意味する言葉だそうです。未来の日本を背負っていく人材を育成していくという私たちの大きな使命を再確認することができた充実した集会でした。

★令和三年度末地公臨講師に対する対応について★



## ★令和三年度末地公臨講師に対する対応について★

地公臨講師(正確には会計年度任用職員)に対して、三月の中旬になって突然「春休み中の勤務については生徒がいらない。従って、勤務されても県民の理解が得られないから勤務はない。」「勤務がないので、当然手当

も発生しない。」との連絡がありました。任用時期については、三月末日までとなっているにもかかわらず、組合としても聞き取り等を行い、県へ交渉を行うべく連絡を入れていきます。時期的にも厳しいときではありますが、高教組としては見過ごすわけにはいきません。一方的な連絡(中には電話でと言う方も)だけでの対応は許せません。

県は「各校長の判断で。」と断っています。が、とにかく正式交渉の日時を決定して非を認めさせられるよう取り組んでいきます。交渉内容・結果についてはまとまり次第連絡してまいります。